

ROTAX EURO RD 3

1300kmの車移動で北欧 スウェーデンに初上陸

初めてのスウェーデンのコースだ。クリスチャンスタッドはスウェーデンでもデンマーク寄り食べ物美味しく良いところだった。事前の練習走行は順調にいていたが、公式予選前の木曜日のロングランで不調に陥った。シャシー変更を決断し、翌日午前2回の走行でセットを詰める。【公式予選 シニア1グループ4位/3グループ総合9位 (61台中) タイム52秒615 (トップとの差0.206秒)】シャシー変更はよかったが、エンジンのジェットが薄かった事と、トリアックでのタイムロスももったいなかった。それでも予選で毎回2列目スタートは悪くない。【予選ヒート (D組) 各11周・C+D 4番手スタート2位・D+E 3番手スタート11位・A+D 4番手スタート5位・B+D4番手スタート8位 予選総合12位】今回の予選4ヒートは、翌日の準決勝、決勝に向けての実践テストと化した。毎ヒート大胆にセットを変えた。チームの方針であれば致し方ない。自分は、その状況でも大崩れせずに生き残り、マシンについてフィードバックを



する事が重要な仕事の一つだ。リザルトではわかりにくいですが、自分自身運転の幅はかなり広がっていると感じている。【プレファイナル12番手スタート12位・ファイナル10番手スタート8位】プレファイナルからレースは激しさを増す。スタート前に雨も落ちて来た。レースはアウト側から直ぐにインに切り込んで順位を上げたものの、シケインで後方から魚雷が飛んで来て制御不能。やむなくショートカットになり、一旦ペナルティが出たが、それによってポ

ジションを落としていた事と動画判定もあり最終的には取り消された。ファイナルは完全なレインコンディション。自分にとってはチャンス到来だ。前半どんどん上がるが、3周目辺りにフロントブレーキが無くなり、ラスト7周にはシートの底が無くなった。それを考えると8位で完走できて無傷だっただけでも幸運なのだが、やはり自分の目標は勝つ事変わらない。今後も日々チームと力を合わせて成長し、シーズンの終りには是非喜びを分かち合いたい。



生みの親、ダニロ・ロッシと共にDRカートの可能性を探る。ちなみに彼は日本のお好み焼きがお気に入り。



メカニックのウィルはとても働き者だ。また今回からXzuit製のNewスーツになりカッコイイと評判だった。



シートの穴。走行中はどうかひとつでもポジションを上げたいと必死だったが、降りた後にゾツとした。